

## 大和市終活支援条例への市民意見公募の結果について

○市民意見公募実施期間:令和3年3月15日(月)～令和3年4月15日(木)

○意見提出者数 2名

○意見件数 2件

### ○寄せられたご意見と市の考え

ご意見の概要	市の考え
<p>市として終活を啓発することは有意義だと思う。高齢者が人生の棚卸をして身軽に生きることができ、現役世代がその介護や後始末で困らないように、従来の価値観に加えて新しいライフスタイルを提案して行くともっと楽しくなると思う。なるべく自立しながら社会と繋がり続けるようなライフスタイルの中に終活が結びつくと良いと感じている。本人が自主的に終活に取り組むためには心境の変化が鍵になってくる。コミュニティの力(が大切)。本条例が礎になり、ポジティブな終活が実行されれば最高である。</p>	<p>終活に取り組みたいと考える市民一人ひとりが、主体的に取り組むことができ、また、その取り組みに対して、地域の方々のご理解やご協力をいただけるよう、市は、終活に関する相談支援や、終活情報の収集、広報、イベントの開催などのさまざまな施策を、広く実施してまいります。</p>
<p>骨子案を見て、大変良いことと感じた。</p> <p>健康・生活・人生の最後(エンディング)を迎えるまでの暮らしを続けて行くうえで、行政、地域の皆様の支援があれば、安心した生活を送れると思う。</p> <p>終活の取り組みは一人ではできない。地域(自治会)の支えが大切になってくると思う。</p>	